

福001	項目名	鳥取市社会福祉協議会補助金		
主要な施策	社会福祉団体育成事業費	ページ	26	所 属 名
年度	H24	福祉保健部 高齢社会課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】高齢者企画係 0857-20-3451			
款 民生費	【9次総の施策体系】3201			
項 社会福祉費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P62(福001)			
目 社会福祉総務費	【事業の概要】 社会福祉協議会は、地域福祉活動の中心的役割を担っているが、その活動のほとんどは利用者負担を伴わないサービス提供である。このため、社会福祉協議会の運営が円滑に行われるよう事務局職員の人件費及びそれに付随する経費に対し補助を行う。			
(単位:千円)	【事業の成果】 事務局職員の人件費及びそれに付随する経費に対し補助する。 平成22年度決算額 205,969千円(職員36人 うち嘱託3人) 平成23年度決算額 178,755千円(職員35人 うち嘱託6人) 平成24年度決算額 230,231千円(職員44人 うち嘱託6人) (平成24年度よりふれあいのまちづくり事業対象職員9名分含む)			
当初予算額	230,231	【今後の課題・方向性】 鳥取市社会福祉協議会は、公益性の非常に高い法人であり、本市の福祉施策に対し、大きな役割を担っている。引き続き、適正な人員配置に努めるとともに、地域福祉活動を推進していく必要があります。		
補正予算額	0			
予算流・充用額	0			
最終予算額	230,231			
本年度決算額	230,231			
区分	決算額			
財源内訳	決算額			
国・県支出金	0			
地方債	0			
その他	0			
一般財源	230,231			
計	230,231			
(参考)	評価結果	鳥取市社会福祉協議会は、公益性の非常に高い法人であり、本市の福祉施策に対し、大きな役割を担っている。引き続き、適正な人員配置に努めるとともに、地域福祉活動を推進していく必要があります。		
前年度決算額	178,755			

福002	項目名	更生保護団体補助金		
主要な施策	社会福祉団体育成事業費	ページ	26	所 属 名
年度	H24	福祉保健部 高齢社会課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】高齢者企画係 0857-20-3451			
款 民生費	【9次総の施策体系】3201			
項 社会福祉費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P62(福002)			
目 社会福祉総務費	【事業の概要】 社会福祉団体の更生保護活動又は奉仕活動を支援し、社会福祉の増進を図る。 更生保護活動を行っている関係団体に補助金を交付することにより、更生保護事業の充実を図る。 更生保護活動は、「犯罪・非行予防事業」、罪を犯した人の円滑な社会復帰を目指す「更生保護事業」を中心として、犯罪や非行のない「明るく住みよい地域づくり」を目的としている。			
(単位:千円)	【事業の成果】 補助金 鳥取保護区保護司会……………547,200円(運営費補助) 鳥取県更生保護給産会……………22,950円(運営費補助) 鳥取県更生保護観察協会……………42,500円(運営費補助) 計 612,650円 平成22年度決算額 743千円(保護司会547千円、給産会23千円、観察協会43千円 社会を明るくする運動横断幕ほか130千円) 平成23年度決算額 613千円(保護司会547千円、給産会23千円、観察協会43千円) 平成24年度決算額 613千円(保護司会547千円、給産会23千円、観察協会43千円)			
当初予算額	613	【今後の課題・方向性】 更生保護事業は、犯罪や非行をした人々が地域社会において円滑に立ち直ることができるように助ける活動である。行政としても犯罪や非行のない暮らしやすい社会づくりを目的とし、今後も継続して事業を行う必要がある。		
補正予算額	0			
予算流・充用額	0			
最終予算額	613			
本年度決算額	613			
区分	決算額			
財源内訳	決算額			
国・県支出金	0			
地方債	0			
その他	0			
一般財源	613			
計	613			
(参考)	評価結果	更生保護事業は、犯罪や非行をした人々が地域社会において円滑に立ち直ることができるように助ける活動である。行政としても犯罪や非行のない暮らしやすい社会づくりを目的とし、今後も継続して事業を行う必要がある。		
前年度決算額	613			

福003	項目名	高齢者福祉・ボランティアバス運行事業費													
主要な施策	高齢者福祉・ボランティアバス運行事業費	ページ	27												
年度	H24	所 属 名 福祉保健部 高齢社会課													
事業の概要	<p>【問合せ先】高齢者企画係 0587-20-3451 【9次総の施策体系】3201 【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P63(福003) 【事業の概要】 高齢者の団体に対して高齢者福祉バスを運行し、高齢者の生きがいづくりや地域交流の推進を図る。 また、ボランティアバスを運行しボランティア活動を行う者の利便を図ることで、市民による社会奉仕活動の促進を図る。 平成19年度より市内を東部・西部・南部の3ブロックに分け、高齢者バス、ボランティアバスを運行。利用状況によっては、ブロック間及びそれぞれのバスとの相互利用を行い、利用機会の拡大を図っている。 <高齢者福祉バス> 4台 ・60歳以上の高齢者で構成される、概ね10人以上39人以下の団体 ・運行は、土日、祝日、年末年始を除く平日の午前9時から午後4時まで <ボランティアバス> 3台 ・市民または市内に事業所を有する団体で、10人以上のグループが社会奉仕活動を行うとき運行 ・運行は、年末年始を除く日の午前9時から午後4時までで、鳥取市内に限る</p> <p>【事業の成果】</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>高齢者福祉バス</td> <td>ボランティアバス</td> </tr> <tr> <td>平成22年度決算額</td> <td>10,830千円</td> <td>653件</td> </tr> <tr> <td>平成23年度決算額</td> <td>11,525千円</td> <td>610件</td> </tr> <tr> <td>平成24年度決算額</td> <td>11,159千円</td> <td>637件</td> </tr> </table> <p>【今後の課題・方向性】 公共交通機関利用助成事業、その他、本市のバス事業と併せて総合的な検討が必要である。</p>				高齢者福祉バス	ボランティアバス	平成22年度決算額	10,830千円	653件	平成23年度決算額	11,525千円	610件	平成24年度決算額	11,159千円	637件
	高齢者福祉バス	ボランティアバス													
平成22年度決算額	10,830千円	653件													
平成23年度決算額	11,525千円	610件													
平成24年度決算額	11,159千円	637件													
会計名	一般会計														
款	民生費														
項	社会福祉費														
目	社会福祉総務費														
(単位:千円)															
当初予算額	11,159	その他財源の内訳													
補正予算額	0	分担金	0												
予算流・充用額	0	負担金	0												
最終予算額	11,159	使用料	0												
本年度決算額	11,159	手数料	0												
区分	決算額	財産収入	0												
国・県支出金	0	寄付金	0												
地方債	0	繰入金	0												
その他	0	贈収入	0												
一般財源	11,159	その他	0												
計	11,159														
(参考)	前年度決算額	11,525	評価結果												
			公共交通機関利用助成事業、その他、本市のバス事業と併せて総合的な検討が必要である。												

福004	項目名	ふれあいのまちづくり事業費							
主要な施策	ふれあいのまちづくり事業費	ページ	27						
年度	H24	所 属 名 福祉保健部 高齢社会課							
事業の概要	<p>【問合せ先】高齢者企画係 0857-20-3451 【9次総の施策体系】3201 【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P63(福004) 【事業の概要】 市民が悩みごとを気軽に相談できる環境や地域の中での援助を必要とする世帯が安心してくらせる環境づくり。 ①各種相談事業 市民からの心配ごと相談や、弁護士・司法書士等による無料専門相談を実施する。 <法律相談> 本所 12回/年、各総合福祉センター計 12回/年 <司法書士相談> 本所 12回/年、各総合福祉センター計 3回/年 <心配ごと相談> 本所 36回/年、各総合福祉センター計 96回/年 <その他> 人権相談、行政相談、身障相談、教育相談 ②小地域ネットワーク推進事業 援助が必要な高齢者等に対し、小地域レベルでいち早く問題を発見し、地域住民と関係機関が連携をとった協働支援体制を確立する。 ネット数に応じて地区へ助成(1ネットあたり500円)</p> <p>【事業の成果】</p> <table border="1"> <tr> <td>平成22年度決算額</td> <td>27,532千円</td> </tr> <tr> <td>平成23年度決算額</td> <td>52,639千円</td> </tr> <tr> <td>平成24年度決算額</td> <td>1,580千円</td> </tr> </table> <p>(※平成23年度までは、ふれあいのまちづくり事業に係る9名分の人件費含む)</p> <p>【今後の課題・方向性】 身近に受けられる法律相談などは、地域福祉の推進に必要があると思われ、今後も継続していく必要がある。また、小地域ネットワーク事業は地域住民と行政機関が連携をとった支援体制を推進していくものであり、「地域での支え合い」が必要とされるなか、引き続き事業を継続していく必要がある。</p>			平成22年度決算額	27,532千円	平成23年度決算額	52,639千円	平成24年度決算額	1,580千円
平成22年度決算額	27,532千円								
平成23年度決算額	52,639千円								
平成24年度決算額	1,580千円								
会計名	一般会計								
款	民生費								
項	社会福祉費								
目	社会福祉総務費								
(単位:千円)									
当初予算額	1,750	その他財源の内訳							
補正予算額	0	分担金	0						
予算流・充用額	0	負担金	0						
最終予算額	1,750	使用料	0						
本年度決算額	1,580	手数料	0						
区分	決算額	財産収入	0						
国・県支出金	0	寄付金	0						
地方債	0	繰入金	0						
その他	0	贈収入	0						
一般財源	1,580	その他	0						
計	1,580								
(参考)	前年度決算額	52,639	評価結果						
			身近に受けられる法律相談などは、地域福祉の推進に必要があると思われ、今後も継続していく必要がある。また、小地域ネットワーク事業は地域住民と行政機関が連携をとった支援体制を推進していくものであり、「地域での支え合い」が必要とされるなか、引き続き事業を継続していく必要がある。						

福005	項目名	地域福祉基金事業助成費																					
主要な施策	地域福祉基金事業助成費	ページ	27																				
年度	H24	所 属 名																					
		福祉保健部 高齢社会課																					
会計名	事業の概要																						
一般会計	【問合せ先】高齢者企画係 0857-20-3451 【9次総の施策体系】3201 【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P64(福005)																						
款 民生費	【事業の概要】 地域福祉の向上には、地域住民を巻き込んだ地域福祉活動の活性化が必要であり、このような取組を実施している市社会福祉協議会に補助金を交付するもの。																						
項 社会福祉費	・対象事業																						
目 社会福祉総務費	①ふれあい型食事サービス ・・・配食を通じた高齢者の安否確認、地域住民の交流、地域ボランティアの育成を図る																						
(単位:千円)	②となり組福祉員設置事業 ・・・町内会の班単位に設置し、近所の課題を民生委員、自治会役員に伝え、協力して問題の解決に当たる																						
当初予算額	12,870	③地域・福祉活動コーディネーター設置事業 ・・・各地区の公民館にコーディネーターを配置し、サロンの推進、相談会の開催など、地域福祉推進のリーダーとして、福祉の向上に繋がる取組を行う。																					
補正予算額	0	【事業の成果】																					
予算流・充用額	0	<table border="1"> <tr> <td></td> <td>決算額</td> <td>配食数</td> </tr> <tr> <td>H22年度</td> <td>12,234千円</td> <td>27,772食</td> </tr> <tr> <td>H23年度</td> <td>12,102千円</td> <td>27,861食</td> </tr> <tr> <td>H24年度</td> <td>12,175千円</td> <td>28,895食</td> </tr> </table>			決算額	配食数	H22年度	12,234千円	27,772食	H23年度	12,102千円	27,861食	H24年度	12,175千円	28,895食								
	決算額	配食数																					
H22年度	12,234千円	27,772食																					
H23年度	12,102千円	27,861食																					
H24年度	12,175千円	28,895食																					
最終予算額	12,870	【今後の課題・方向性】 高齢者ができる限り地域での生活を望む中、住民相互による支え合いなど地域福祉の向上は必要である。 このため、このような取組を継続して実施している市社会福祉協議会を今後も継続して支援していく必要がある。																					
本年度決算額	12,176	<table border="1"> <tr> <td colspan="2">其他財源の内訳</td> </tr> <tr> <td>分担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>手数料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>財産収入</td> <td>53</td> </tr> <tr> <td>寄付金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>繰入金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>贈収金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </table>		其他財源の内訳		分担金	0	負担金	0	使用料	0	手数料	0	財産収入	53	寄付金	0	繰入金	0	贈収金	0	その他	0
其他財源の内訳																							
分担金	0																						
負担金	0																						
使用料	0																						
手数料	0																						
財産収入	53																						
寄付金	0																						
繰入金	0																						
贈収金	0																						
その他	0																						
区分	決算額																						
財源内訳																							
国・県支出金	0																						
地方債	0																						
その他	53																						
一般財源	12,123																						
計	12,176																						
(参考)		評価結果																					
前年度決算額	12,102	高齢化率が急激に上昇し、また、高齢者ができる限り地域での生活を望む中、今後地域における支え合いの推進は重要となる。このため、このような取組を行っている市社会福祉協議会の事業を今後も継続して支援する必要がある。																					

福006	項目名	地域介護・福祉空間整備等交付金																					
主要な施策	社会福祉施設整備等補助金	ページ	26																				
年度	H24	所 属 名																					
		福祉保健部 高齢社会課																					
会計名	事業の概要																						
一般会計	【問合せ先】賦課・徴収係 0857-20-3452 【9次総の施策体系】3201 【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 9月補正予算・P10(福001)																						
款 民生費	【事業の概要】 第5期鳥取市介護保険事業計画・高齢者福祉計画に位置付ける介護基盤の整備を推進するため、計画に位置付けた介護サービス事業所を開設する事業者に対して助成(財源:国10/10)を行い、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう介護基盤の充実強化を図る。																						
項 社会福祉費	【事業の成果】																						
目 社会福祉総務費	1 施設整備助成 <認知症高齢者グループホーム整備事業> 15,000千円×1施設=15,000千円 <複合型サービス事業所整備事業> 12,000千円×1施設=12,000千円																						
(単位:千円)	2 開設経費助成 <定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所の開設経費助成> 事業立上げの初年度に必要な備品購入や人件費等の経費に対して助成 7,891千円×1施設=7,891千円 <複合型サービス事業所の開設経費助成> 事業立上げの初年度に必要な設備購入の経費に対して助成 1,866千円×1施設=1,866千円																						
当初予算額	0	【今度の課題・方向性】 第5期鳥取市介護保険事業計画・高齢者福祉計画(平成24~26年度)に基づき、国庫補助を活用しながら必要に応じて助成事業を実施し、本市の介護基盤の充実・強化を推進する。																					
補正予算額	39,000																						
予算流・充用額	0																						
最終予算額	39,000	<table border="1"> <tr> <td colspan="2">其他財源の内訳</td> </tr> <tr> <td>分担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>手数料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>財産収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>寄付金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>繰入金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>贈収金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </table>		其他財源の内訳		分担金	0	負担金	0	使用料	0	手数料	0	財産収入	0	寄付金	0	繰入金	0	贈収金	0	その他	0
其他財源の内訳																							
分担金	0																						
負担金	0																						
使用料	0																						
手数料	0																						
財産収入	0																						
寄付金	0																						
繰入金	0																						
贈収金	0																						
その他	0																						
本年度決算額	36,757																						
区分	決算額																						
財源内訳																							
国・県支出金	36,757																						
地方債	0																						
その他	0																						
一般財源	0																						
計	36,757																						
(参考)		評価結果																					
前年度決算額	0	国による予算の確保や、第5期鳥取市介護保険事業計画との整合性の見地から吟味し、同規模の予算で継続していきたい。																					

福007	項目名	社会福祉施設改修事業費	
主要な施策	社会福祉施設整備費	ページ	26
年度	H24	所 属 名	
		福祉保健部 高齢社会課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】高齢者企画係 0857-20-3451		
款 民生費	【9次総の施策体系】3201		
項 社会福祉費	【予算計上の経過】		
目 社会福祉総務費	予算事業別概要目次 9月補正予算・P10 (福002)		
(単位:千円)	【事業の概要】		
当初予算額 6,157	高齢社会課所管の施設修繕		
補正予算額 43,256	【事業の成果】		
予算流・充用額 0	平成22年度実績 2,866千円 平成23年度実績 2,679千円 平成24年度実績 42,365千円		
最終予算額 49,413	修繕箇所 佐治山王ふれあい会館、さざんか会館、高齢者福祉センター 湯谷荘、鹿野町老人福祉センター、青谷やすらぎ、なごみ苑 福部砂丘温泉ふれあい会館、佐治山王ふれあい会館、 佐治町老人福祉センター		
本年度決算額 42,395	主な修繕 さざんか会館空調改修工事 (H24、25年度) " 点字ブロック改修 (2~5F) 福部砂丘温泉電話交換機取替、なごみ苑雨漏り修繕 佐治山王ふれあい会館除雪機更新		
区分 決算額	【今後の課題・方向性】		
財源内訳 国・県支出金 0	管理施設の老朽化 (築20年前後)に伴い今後も修繕は増える。 保守点検業務報告書に基づき、利用者が不便にならないよう順次修繕していく。		
地方債 0	評価結果		
その他 0	建築20年前後の施設であり、老朽化が進んでいる。しっかり保守点検業務を行い計画的修繕し、利用者に不便がかららないようにする。		
一般財源 42,395	前年度決算額 2,949		
計 42,395			

福008	項目名	福祉のてびき作成事業	
主要な施策	事務費	ページ	26
年度	H24	所 属 名	
		福祉保健部 高齢社会課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】高齢者企画係 0857-20-3451		
款 民生費	【9次総の施策体系】3201		
項 社会福祉費	【予算計上の経過】		
目 社会福祉総務費	予算事業別概要目次 当初予算・P64 (福006)		
(単位:千円)	【事業の概要】		
当初予算額 2,079	福祉施策は制度改正により年々複雑化しており、制度をわかり易く説明する手引きを作成。		
補正予算額 △500	【事業の成果】		
予算流・充用額 0	・A4版ガイドブック作成 H19年度 71,000部 H21年度 24,000部 H24年度 16,000部 ・ホームページの掲載データ作成		
最終予算額 1,579	【今後の課題・方向性】		
本年度決算額 1,540	今後も必要に応じて予算計上を行う。		
区分 決算額	評価結果		
財源内訳 国・県支出金 0	今後も必要に応じて予算計上を行う。		
地方債 0	前年度決算額 0		
その他 991			
一般財源 549			
計 1,540			

福009	項目名	レーク大樹施設取扱方針検討事業費		
主要な施策	事務費	ページ	26	
年度	H24	所 属 名		
		福祉保健部 高齢社会課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】高齢者企画係 0857-20-3451			
款 民生費	【9次総の施策体系】3201			
項 社会福祉費	【予算計上の経過】			
目 社会福祉総務費	予算事業別概要目次			
(単位:千円)	9月補正予算・P11 (福003)			
当初予算額	0	【事業の概要】		
補正予算額	206	近年の景気低迷などによりレーク大樹の経営状況が悪化したため、(財)鳥取市教育福祉振興会が財政資金積立金を取り崩して赤字補填してきた。このため、公益法人制度改革や社会情勢の変化などを踏まえ、レーク大樹のあり方について検討を行った。		
予算流・充用額	0	【事業の内容】		
最終予算額	206	内 容 外部委員で構成される委員会を設置し、レーク大樹及びつつらを荘の今後のあり方について検討を行った。		
本年度決算額	90	委員数 7名		
区分	決算額	開催回数 3回 【平成24年10月～12月】		
		国・県支出金	0	
財源内訳	地方債	0	分担金	0
	その他	0	負担金	0
	一般財源	90	使用料	0
	計	90	手数料	0
			財産収入	0
		寄付金	0	
		繰入金	0	
		贈収入	0	
		その他	0	
(参考)		評価結果		
前年度決算額	0	検討委員会で取りまとめられた提言を参考に、民間への売却を行うこととした。		

福010	項目名	養護老人ホーム入所事業費	
主要な施策	養護老人ホーム入所事業費	ページ	28
年度	H24	所 属 名	
		福祉保健部 高齢社会課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】高齢者福祉係 0857-20-3453		
款 民生費	【9次総の施策体系】3201		
項 社会福祉費	【予算計上の経過】		
目 老人福祉費	予算事業別概要目次		
(単位:千円)	当初予算・P65 (福007)		
当初予算額	212,612	【事業の概要】	
補正予算額	△ 3,310	概ね65歳以上で環境上及び経済的な理由により居宅で養護を受けることが困難な高齢者を入所させ養護することにより、健康で安心な生活を送れるよう支援する。	
予算流・充用額	5	【事業の成果】	
最終予算額	209,307	平成22年度決算額 207,296千円	
区分	決算額	平成23年度決算額 202,964千円	
		平成24年度決算額 204,847千円	
財源内訳	国・県支出金	0	【今後の課題・方向性】
	地方債	0	経済的・環境的な要因等で地域生活が困難な者に住居を提供するため、今後も継続して実施する。
	その他	49,003	
	一般財源	155,844	
	計	204,847	
		分担金	0
		負担金	49,003
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収入	0
		その他	0
(参考)		評価結果	
前年度決算額	202,964	経済的・環境的な要因等で地域生活が困難な者に住居を提供するため、今後も継続して実施する。	

福011	項目名	日常生活用具給付等事業費	
主要な施策	在宅老人福祉対策費	ページ	28
年度	H24	所 属 名	
		福祉保健部 高齢社会課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】高齢者福祉係 0857-20-3453		
款 民生費	【9次総の施策体系】3201		
項 社会福祉費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P65(福008)		
目 老人福祉費	【事業の概要】 認知症などにより、火の管理に不安のある高齢者世帯等に対し防火用具の購入助成を行う。 ・対象者 おおむね65歳以上の一人暮らし高齢者などで、認知症又は身体機能の低下により防火などへの配慮が必要な市民税非課税の世帯 ・助成額 購入額のうち、9/10の助成 ・対象品目 「電磁調理器」、「自動消火器」		
(単位:千円)	【事業の成果】		
当初予算額	1,180	平成22年度決算額	976千円 76件
補正予算額	△946	平成23年度決算額	1,381千円 138件
予算流・充用額	0	平成24年度決算額	54千円 4件
最終予算額	234	【今後の課題・方向性】 高齢者世帯の防火対策を支援するために、今後も継続して助成を行う。	
本年度決算額	54	評価結果	
区分	決算額	高齢者世帯の防火対策を支援するために、今後も継続して実施する。	
財源内訳			
国・県支出金	0		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	54		
計	54		
(参考)			
前年度決算額	1,381		

福012	項目名	高齢者居住環境整備助成費	
主要な施策	高齢者居住環境整備助成費	ページ	28
年度	H24	所 属 名	
		福祉保健部 高齢社会課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】高齢者福祉係 0857-20-3453		
款 民生費	【9次総の施策体系】3201		
項 社会福祉費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P66(福009)		
目 老人福祉費	【事業の概要】 介護保険の住宅改修費給付に加えて、高齢者の居住環境を整備するための改修工事費の助成を実施。 ・対象者 要介護・要支援の認定を受けている者で本人及び同一住所を有する者がすべて市民税非課税の者 ・対象工事 手すりの取付、段差の解消、滑り止め防止の床材の変更、引き戸等への取替、和式便器の取替等 ・助成金額 助成対象経費の2分の1を助成(限度額400,000円)		
(単位:千円)	【事業の成果】		
当初予算額	8,000	平成22年度決算額	7,352千円 利用件数 28件
補正予算額	△3,143	平成23年度決算額	6,121千円 利用件数 18件
予算流・充用額	0	平成24年度決算額	2,195千円 利用件数 8件
最終予算額	4,857	【今後の課題・方向性】 経済的に住宅改修が困難な世帯に属する高齢者の在宅生活を支援するため、今後も引き続き支援を行う必要がある。	
本年度決算額	2,195	評価結果	
区分	決算額	経済的に住宅改修が困難な世帯に属する高齢者の在宅生活を支援するために、今後も必要な事業です。	
財源内訳			
国・県支出金	0		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	2,195		
計	2,195		
(参考)			
前年度決算額	6,121		

福013	項目名	敬老祝賀事業費	
主要な施策	敬老金婚・ダイヤモンド婚祝賀事業費	ページ	28
年度	H24	所 属 名	
		福祉保健部 高齢社会課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】高齢者福祉係 0857-20-3453		
款 民生費	【9次総の施策体系】3201		
項 社会福祉費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P66(福010)		
目 老人福祉費	【事業の概要】 長寿者に記念品等を贈り、長寿と健康を祝う。		
(単位:千円)	【事業の成果】		
当初予算額	2,531	100歳以上	90歳到達
補正予算額	△1,019	平成21年度	97人 560人
予算流・充用額	0	平成22年度	105人 637人
最終予算額	1,512	平成23年度	112人 731人
		平成24年度	133人 675人
本年度決算額	1,511	【今後の課題・方向性】 高齢者の長寿と健康を祝い、併せて高齢者に対する敬老の意識を啓発するため、今後も継続して実施する。	
区分	決算額	評価結果	
財源内訳		高齢者の長寿と健康を祝い、併せて高齢者に対する敬老の意識を啓発するため、今後も継続して実施する。	
国・県支出金	0		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	1,511		
計	1,511		
(参考)			
前年度決算額	1,543		

福014	項目名	金婚・ダイヤモンド婚祝賀事業費	
主要な施策	敬老金婚・ダイヤモンド婚祝賀事業費	ページ	28
年度	H24	所 属 名	
		福祉保健部 高齢社会課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】高齢者企画係 0857-20-3451		
款 民生費	【9次総の施策体系】3201		
項 社会福祉費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P67(福011)		
目 老人福祉費	【事業の概要】 結婚生活50周年(金婚)、60周年(ダイヤモンド婚)のご夫婦を一堂に招待し、お祝いの式典を実施することにより高齢者の生きがい増進を図る。金婚式は昭和46年度から、ダイヤモンド婚式は平成11年度から開催している。平成17年度からは、合併に伴い市内3ブロックに分けて開催している。 祝賀式典で代表者の方に祝詞を贈呈。式典後アトラクション、記念撮影を実施。 Aブロック(鳥取地域:鳥取・国府・福部) Bブロック(南部地域:河原・用瀬・佐治) Cブロック(西部地域:気高・鹿野・青谷)		
(単位:千円)	【事業の成果】		
当初予算額	1,834	平成22年度	1,314千円 金婚371組(出席189組)、ダイヤモンド婚135組(出席54組)
補正予算額	0	平成23年度	1,442千円 金婚391組(出席173組)、ダイヤモンド婚169組(出席75組)
予算流・充用額	△4	平成24年度	1,354千円 金婚324組(出席152組)、ダイヤモンド婚155組(出席72組)
最終予算額	1,830	【今後の課題・方向性】 事業の効率化を考え、手段等を改善し、継続していく。	
本年度決算額	1,354	評価結果	
区分	決算額	事業の効率化を考え、手段等を改善し、継続していく。	
財源内訳			
国・県支出金	0		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	1,354		
計	1,354		
(参考)			
前年度決算額	1,442		

福015	項目名	敬老祝賀事業補助金	
主要な施策	敬老金婚・ダイヤモンド婚祝賀事業費	ページ	28
年度	H24	所 属 名	
		福祉保健部 高齢社会課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】高齢者福祉係 0857-20-3453		
款 民生費	【9次総の施策体系】3201		
項 社会福祉費	予算事業別概要目次 当初予算・P67(福012)		
目 老人福祉費	【事業の概要】 地域敬老会の開催経費の一部を負担することにより、市内在住高齢者の長寿と健康を祝う。		
(単位:千円)	【事業の成果】 敬老会参加者の長寿と健康への意識が高まった。併せて、地域で開催することにより、市民の高齢者に対する敬老意識の向上が図られた。		
当初予算額	18,830	【今後の課題・方向性】 平成20年度において、合併前に実施されていた各町村の敬老祝賀事業を全市的に整理・統一し、現在においては、当該事業の地域における実施体制も定着しており、現行事業の維持が望ましいと考えている。	
補正予算額	0		
予算流・充用額	0		
最終予算額	18,830	【今後の課題・方向性】 平成20年度において、合併前に実施されていた各町村の敬老祝賀事業を全市的に整理・統一し、現在においては、当該事業の地域における実施体制も定着しており、現行事業の維持が望ましいと考えている。	
本年度決算額	18,308	【今後の課題・方向性】 平成20年度において、合併前に実施されていた各町村の敬老祝賀事業を全市的に整理・統一し、現在においては、当該事業の地域における実施体制も定着しており、現行事業の維持が望ましいと考えている。	
区分	決算額	【今後の課題・方向性】 平成20年度において、合併前に実施されていた各町村の敬老祝賀事業を全市的に整理・統一し、現在においては、当該事業の地域における実施体制も定着しており、現行事業の維持が望ましいと考えている。	
国・県支出金	0	【今後の課題・方向性】 平成20年度において、合併前に実施されていた各町村の敬老祝賀事業を全市的に整理・統一し、現在においては、当該事業の地域における実施体制も定着しており、現行事業の維持が望ましいと考えている。	
地方債	0	【今後の課題・方向性】 平成20年度において、合併前に実施されていた各町村の敬老祝賀事業を全市的に整理・統一し、現在においては、当該事業の地域における実施体制も定着しており、現行事業の維持が望ましいと考えている。	
その他	0	【今後の課題・方向性】 平成20年度において、合併前に実施されていた各町村の敬老祝賀事業を全市的に整理・統一し、現在においては、当該事業の地域における実施体制も定着しており、現行事業の維持が望ましいと考えている。	
一般財源	18,308	【今後の課題・方向性】 平成20年度において、合併前に実施されていた各町村の敬老祝賀事業を全市的に整理・統一し、現在においては、当該事業の地域における実施体制も定着しており、現行事業の維持が望ましいと考えている。	
計	18,308	【今後の課題・方向性】 平成20年度において、合併前に実施されていた各町村の敬老祝賀事業を全市的に整理・統一し、現在においては、当該事業の地域における実施体制も定着しており、現行事業の維持が望ましいと考えている。	
(参考)	評価結果		
前年度決算額	17,998	平成20年度において、合併前に実施されていた各町村の敬老祝賀事業を全市的に整理・統一し、現在においては、当該事業の地域における実施体制も定着しており、現行事業の維持が望ましいと考えている。	

福016	項目名	単位老人クラブ活動補助金	
主要な施策	老人クラブ育成費	ページ	28
年度	H24	所 属 名	
		福祉保健部 高齢社会課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】高齢者福祉係 0857-20-3453		
款 民生費	【9次総の施策体系】3201		
項 社会福祉費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P68(福013)		
目 老人福祉費	【事業の概要】 老人クラブの活性化を図り、高齢者の生きがいや健康づくりを推進する。		
(単位:千円)	【事業の成果】 老人クラブの活動に対し補助金を交付した。 ※21～23年度の3カ年でクラブの規模に応じた補助額の適正化を図った。		
当初予算額	16,606	【今後の課題・方向性】 高齢者の生きがい・健康づくり・社会参加を推進するため、今後も継続して実施する。	
補正予算額	△230		
予算流・充用額	0		
最終予算額	16,376	【今後の課題・方向性】 高齢者の生きがい・健康づくり・社会参加を推進するため、今後も継続して実施する。	
本年度決算額	16,357	【今後の課題・方向性】 高齢者の生きがい・健康づくり・社会参加を推進するため、今後も継続して実施する。	
区分	決算額	【今後の課題・方向性】 高齢者の生きがい・健康づくり・社会参加を推進するため、今後も継続して実施する。	
国・県支出金	10,901	【今後の課題・方向性】 高齢者の生きがい・健康づくり・社会参加を推進するため、今後も継続して実施する。	
地方債	0	【今後の課題・方向性】 高齢者の生きがい・健康づくり・社会参加を推進するため、今後も継続して実施する。	
その他	0	【今後の課題・方向性】 高齢者の生きがい・健康づくり・社会参加を推進するため、今後も継続して実施する。	
一般財源	5,456	【今後の課題・方向性】 高齢者の生きがい・健康づくり・社会参加を推進するため、今後も継続して実施する。	
計	16,357	【今後の課題・方向性】 高齢者の生きがい・健康づくり・社会参加を推進するため、今後も継続して実施する。	
(参考)	評価結果		
前年度決算額	16,604	高齢者の生きがい・健康づくり・社会参加を推進するため、今後も継続が必要な事業です。	

福017	項目名	老人クラブ連合会活動補助金	
主要な施策	老人クラブ育成費	ページ	28
年度	H24	所 属 名 福祉保健部 高齢社会課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】高齢者福祉係 0857-20-3453		
款 民生費	【9次総の施策体系】3201		
項 社会福祉費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P68(福014)		
目 老人福祉費	【事業の概要】 老人クラブ連合会の活性化を図り、高齢者の生きがいや健康づくりを推進する。		
(単位:千円)	【事業の成果】 社会奉仕活動等を広域的に実施する鳥取市老人クラブ連合会の活動が高齢者の生きがいづくりや介護予防のための健康づくりに繋がる。		
当初予算額	5,947	【今後の課題・方向性】 事業の実施は、老人クラブ活動の活性化に繋がるものであり、今後も継続して実施する。	
補正予算額	0		
予算流・充用額	0		
最終予算額	5,947	その他の財源の内訳	
本年度決算額	5,947	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収入	0
		その他	0
区分	決算額		
財源内訳			
国・県支出金	3,964		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	1,983		
計	5,947		
(参考)		評価結果	事業の実施は、老人クラブ活動の活性化に繋がるものであり、今後も継続して実施する。
前年度決算額	5,947		

福018	項目名	公共交通機関利用助成事業費	
主要な施策	公共交通機関利用助成事業費	ページ	28
年度	H24	所 属 名 福祉保健部 高齢社会課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】高齢者企画係 0857-20-3451		
款 民生費	【9次総の施策体系】3201		
項 社会福祉費	【予算計上の経過】 当初予算・P69(福015)		
目 老人福祉費	【事業の概要】 高齢者の団体が、健康保持のための教養講座、広く地域社会との交流を図り、生きがいを高めるためのレクリエーション、研修などにおいて公共交通機関や観光バスを利用した場合、その経費の一部を助成する。 ・対象となる10万円までの基本運賃に対して、1/2を助成。 ・利用回数は、年度中1団体1回		
(単位:千円)	【事業の成果】		
当初予算額	2,184	平成22年度決算額	2,036千円 51件
補正予算額	771	平成23年度決算額	2,432千円 67件
予算流・充用額	0	平成24年度決算額	2,682千円 69件
最終予算額	2,955	【今後の課題・方向性】 高齢者福祉バス、その他、本市のバス事業と併せて総合的な検討が必要である。	
本年度決算額	2,682		
		その他の財源の内訳	
		分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収入	0
		その他	0
区分	決算額		
財源内訳			
国・県支出金	0		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	2,682		
計	2,682		
(参考)		評価結果	高齢者福祉バス、その他、本市のバス事業と併せて総合的な検討が必要である。
前年度決算額	2,432		

福019	項目名	レーク大樹利用助成費	
主要な施策	レーク大樹利用助成費	ページ	28
年度	H24	所 属 名	
		福祉保健部 高齢社会課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】高齢者福祉係 0857-20-3453		
款 民生費	【9次総の施策体系】3201		
項 社会福祉費	【予算計上の経過】		
目 老人福祉費	予算事業別概要目次		
(単位:千円)	当初予算・P69(福016)		
当初予算額	2,915	【事業の概要】	
補正予算額	0	レーク大樹、つづらを荘の入浴施設の利用にあたり、高齢者等に利用料の一部を助成することで、温泉施設の利用促進を図り、介護予防、健康増進に資する。	
予算流・充用額	342	なお、助成については財団法人鳥取市教育福祉振興会に補助金を交付している。	
最終予算額	3,257	(利用者には、助成済額を利用時に支払う)	
本年度決算額	3,256	対象施設 レーク大樹、つづらを荘	
区分	決算額	対象者 市内にお住まいの方	
国・県支出金	0	①利用時の年齢が満65以上の方	
地方債	0	②身体障害者手帳、療育手帳又は、精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方	
その他	0	助成金額	
一般財源	3,256	レーク大樹 100円/回	
計	3,256	つづらを荘 50円/回	
財源内訳		【事業の成果】	
国・県支出金	0	平成22年度 決算額 12,065千円	
地方債	0	利用実績 レーク大樹 37,444人	
一般財源	3,256	つづらを荘 8,316人	
計	3,256	平成23年度 決算額 7,892千円	
		利用実績 レーク大樹 34,572人	
		つづらを荘 9,775人	
		平成24年度 決算額 3,256千円	
		利用実績 レーク大樹 27,202人	
		つづらを荘 10,725人	
(参考)		【今後の課題・方向性】	
前年度決算額	7,892	本市の他の温泉施設の状況を踏まえ、25年度から廃止。	
		評価結果	
		25年度から廃止する。	

福020	項目名	寝具丸洗い乾燥事業費	
主要な施策	寝具丸洗い乾燥事業費	ページ	28
年度	H24	所 属 名	
		福祉保健部 高齢社会課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】高齢者福祉係 0857-20-3453		
款 民生費	【9次総の施策体系】3201		
項 社会福祉費	【予算計上の経過】		
目 老人福祉費	予算事業別概要目次		
(単位:千円)	当初予算・P70(福017)		
当初予算額	1,396	【事業の概要】	
補正予算額	△1,054	・内容 寝たきりの高齢者等の寝具(掛布団・敷布団・毛布)の丸洗い・乾燥・消毒を行う。	
予算流・充用額	0	・対象者 要介護1～3の市民税非課税の高齢者のみの世帯に属する者(年2回)	
最終予算額	342	要介護4～5の高齢者(年4回)	
本年度決算額	251	・利用料 掛布団200円、敷布団200円、毛布100円、羽根掛布団300円	
区分	決算額	【事業の成果】	
国・県支出金	0	平成22年度決算額 1,070千円 延利用者数 255人 延枚数 625枚	
地方債	0	平成23年度決算額 904千円 延利用者数 226人 延枚数 513枚	
その他	25	平成24年度決算額 251千円 延利用者数 63人 延枚数 142枚	
一般財源	226	【今後の課題・方向性】	
計	251	高齢者の衛生的な生活環境の維持を図るため、今後も引き続き事業を行う。	
財源内訳		評価結果	
国・県支出金	0	寝たきりの高齢者等の衛生的な生活環境を維持するため、今後も必要な事業です。	
地方債	0		
一般財源	226		
計	251		
(参考)			
前年度決算額	904		

福021	項目名	生活支援ハウス運営費	
主要な施策	生活支援ハウス運営費	ページ	28
年度	H24	所 属 名	
		福祉保健部 高齢社会課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】高齢者福祉係 0857-20-3453		
款 民生費	【9次総の施策体系】3201		
項 社会福祉費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P70(福018)		
目 老人福祉費	【事業の概要】 自立しているが在宅で生活することに不安がある高齢者に居室を提供し、生活援助員による支援を受けながら安心して生活できるように支援する。 ・対象者：60歳以上で低所得、かつひとり暮らしなど在宅での生活に不安のある高齢者 入所施設 生活支援ハウスいなば幸朋苑 (20床) ふれあいハウスたかくさ (20床) 青谷町高齢者生活福祉センター(10床) ※平成23年度から他事業費で支出。		
(単位:千円)	【事業の成果】		
当初予算額	28,194	平成22年度決算額 34,194千円	
補正予算額	0	平成23年度決算額 27,714千円	
予算流・充用額	0	平成24年度決算額 28,194千円	
最終予算額	28,194	【今後の課題・方向性】 ひとり暮らし高齢者などが安心して居住できる場所の提供は必要であり、今後も継続して実施する。	
本年度決算額	28,194	評価結果	
区分	決算額	ひとり暮らし高齢者などが安心して居住できる場所の提供は必要であり、今後も継続して実施する。	
財源内訳	国・県支出金 0		
	地方債 0		
	その他 948		
	一般財源 27,246		
計	28,194		
(参考)	前年度決算額	27,714	

福022	項目名	(仮称)鳥取東地域包括支援センター設置準備費	
主要な施策	鳥取東地域包括支援センター設置準備費	ページ	28
年度	H24	所 属 名	
		福祉保健部 高齢社会課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】 鳥取中央地域包括支援センター 0857-20-3456		
款 民生費	【9次総の施策体系】3101		
項 社会福祉費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 9月補正予算・P11(福004)		
目 老人福祉費	【事業の概要】 平成18年度に開設した鳥取中央地域包括支援センター(所在地:鳥取市役所駅南庁舎)を分割し、新たに旧殿ダム工事事務所(所在地:国府町宮下)内に平成25年4月より事業所を開設する。		
(単位:千円)	【事業の成果】 平成25年4月1日に鳥取東健康福祉センターが開設された。		
当初予算額	0	【今後の課題・方向性】 鳥取東健康福祉センター開設により終了。	
補正予算額	1,294		
予算流・充用額	0		
最終予算額	1,294		
本年度決算額	984		
区分	決算額		
財源内訳	国・県支出金 0		
	地方債 0		
	その他 0		
	一般財源 984		
計	984		
(参考)	前年度決算額	0	
		評価結果	
		平成25年度に鳥取東健康福祉センターを設置することにより終了。	

福023	項目名	身体・知的障害者相談員設置事業費																						
主要な施策	身体・知的障害者相談員設置事業費	ページ	26	所 属 名																				
年度	H24	福祉保健部 障がい福祉課																						
会計名	事業の概要																							
一般会計	【問合せ先】自立支援係 0857-20-3475																							
款 民生費	【9次総の施策体系】3201																							
項 社会福祉費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P71（福020）																							
目 社会福祉総務費	【事業の概要】 身体障害者及び知的障害者等からの相談に応じて、日常生活をサポートするほか、行政とのパイプ役として、福祉のサービスに関する情報を提供したり、地域の障害者のニーズを行政へ提言する役割を担う相談員を設置。																							
(単位:千円)	【事業の成果】 障がいのある方の更正援護に熱意と識見を持つ相談員を設置することにより、身体障害者及び知的障害者の福祉の増進が図られた。																							
当初予算額	598	【今後の課題・方向性】 法律に基づいて設置するもので、今後も継続実施。																						
補正予算額	0																							
予算流・充用額	0																							
最終予算額	598	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">其他財源の内訳</th> </tr> <tr> <td>分担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>手数料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>財産収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>寄付金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>繰入金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>贈収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </table>			其他財源の内訳		分担金	0	負担金	0	使用料	0	手数料	0	財産収入	0	寄付金	0	繰入金	0	贈収入	0	その他	0
其他財源の内訳																								
分担金	0																							
負担金	0																							
使用料	0																							
手数料	0																							
財産収入	0																							
寄付金	0																							
繰入金	0																							
贈収入	0																							
その他	0																							
本年度決算額	540																							
区分	決算額																							
財源内訳	国・県支出金	0																						
	地方債	0																						
	その他	0																						
	一般財源	540																						
	計	540																						
(参考)	評価結果	身体や知的に障がいのある方やその家族の方からの相談に応じ、必要な援助や関係機関との連携をとって支援するために今後も必要である。																						
前年度決算額	0																							

福024	項目名	災害時要援護者普及促進事業費																						
主要な施策	災害時要援護者普及促進事業費	ページ	26	所 属 名																				
年度	H24	福祉保健部 障がい福祉課																						
会計名	事業の概要																							
一般会計	【問合せ先】障がい者福祉係 0857-20-3474																							
款 民生費	【9次総の施策体系】3201																							
項 社会福祉費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P72（福021）																							
目 社会福祉総務費	【事業の概要】 地震や洪水などの災害時において、障がいのある方、ひとり暮らしの高齢者などの要援護者が、地域の「共助」により支援を受けられる体制づくりの推進を図る。 《事業の内容》 要援護者対象者の範囲を絞り込んだ「要援護者対象者リスト」を作成する。このリストを地域の支援組織（自治会、自主防災組織、民生児童委員、地区社会福祉協議会等により構成された組織）に提供し、要援護者の存在を認識していただくとともに、対象者に対して制度への登録勧奨を行っていただく。																							
(単位:千円)	【事業の成果】 （1）事業実施地区数（20、21年度は、モデル地区事業として24地区で実施。） 22年度：10地区（久松、岩倉、大和、大郷、吉岡、末恒、湖山、用瀬町大村、用瀬町社、鹿野町勝谷） （2）制度登録者数 20年度：940名 21年度：2,762名 22年度：3,686名 23年度：5,320名 24年度：5,468名																							
当初予算額	1,713	【今後の課題・方向性】 災害時に支援を必要とする要援護者の安全を確保するためには、災害時要援護者支援制度の普及・促進が必要である。まずは、市内全地区において取り組んでいただくよう、未だ取り組んでいない地区に対して、制度の説明を行っていただく必要がある。																						
補正予算額	0																							
予算流・充用額	0																							
最終予算額	1,713	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">其他財源の内訳</th> </tr> <tr> <td>分担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>手数料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>財産収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>寄付金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>繰入金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>贈収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </table>			其他財源の内訳		分担金	0	負担金	0	使用料	0	手数料	0	財産収入	0	寄付金	0	繰入金	0	贈収入	0	その他	0
其他財源の内訳																								
分担金	0																							
負担金	0																							
使用料	0																							
手数料	0																							
財産収入	0																							
寄付金	0																							
繰入金	0																							
贈収入	0																							
その他	0																							
本年度決算額	1,433																							
区分	決算額																							
財源内訳	国・県支出金	206																						
	地方債	0																						
	その他	0																						
	一般財源	1,227																						
	計	1,433																						
(参考)	評価結果	災害時に支援を必要とする要援護者の安全を確保するためには、災害時要援護者支援制度の普及・促進が必要である。まずは、市内全地区において取り組んでいただくよう制度についての説明を行っていただく必要がある。																						
前年度決算額	1,722																							

福025	項目名	障害者虐待防止対策支援事業費		
主要な施策	障害者虐待防止対策支援事業費	ページ	26	所 属 名
年度	H24	福祉保健部 障がい福祉課		
事業の概要	<p>【問合せ先】障がい福祉係 0857-20-3474</p> <p>【9次総の施策体系】3201</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 9月補正予算・P12（福005）</p> <p>【事業の概要】 平成23年6月の「障害者虐待の防止、障害者の養護者に対する支援等に関する法律」の成立を受け、平成24年10月1日より法が施行されることに伴い、障がい者虐待防止センターの設置等障がい者虐待の防止、養護者に対する支援を行う体制整備</p> <p>【事業の成果】 虐待に関する通報、相談窓口として障がい福祉課内に鳥取市障がい者虐待防止センターの設置（H24年10月） 障がい者虐待を防止する取り組みを地域や関係機関等と連携・協力して推進するために鳥取市障がい者虐待防止ネットワーク協議会を設置 障がい者虐待防止の啓発活動</p> <p>【今後の課題・方向性】 障がい者の安定した生活や社会参加を助けるためには障がい者虐待を防止し、養護者の支援等を行うことにより、障がい者の権利擁護を行うことが必要である。</p>			
会計名	一般会計			
款	民生費			
項	社会福祉費			
目	社会福祉総務費			
(単位:千円)				
当初予算額	0			
補正予算額	1,319			
予算流・充用額	0			
最終予算額	1,319			
本年度決算額	1,064			
区分	決算額	その他財源の内訳		
財源内訳	国・県支出金	604	分担金	0
	地方債	0	負担金	0
	その他	0	使用料	0
	一般財源	460	手数料	0
	計	1,064	財産収入	0
			寄付金	0
			繰入金	0
			贈収入	0
			その他	0
(参考)	評価結果	障がいのある方が尊厳を保ち、住み慣れた地域で安心して暮らし続けるためには障がい者への虐待を防止すること及び養護者への支援等を行うことは継続して必要である。		
前年度決算額	0			

福026	項目名	障害者自立支援法施行事務費		
主要な施策	障害者自立支援法施行事務費	ページ	29	所 属 名
年度	H24	福祉保健部 障がい福祉課		
事業の概要	<p>【問合せ先】自立支援係 0857-20-3475</p> <p>【9次総の施策体系】3201</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 12月補正予算・P8（福001）</p> <p>【事業の概要】 障害者自立支援法に基づく各種サービスの新規・変更・更新申請に伴う経費及び障害者システムの保守管理費用、制度変更によるシステム改修費等を支出するもの。 ※事業委託先 障害者システムソフトウェア保守・機器保守：富士通中国システムズ</p> <p>【事業の成果】 平成22年度 7,871千円 平成23年度 19,035千円 平成24年度 6,725千円</p> <p>【今後の課題・方向性】 システム機器の保守期限を過ぎており、機器更新を行う時期にきている。また、平成26年度に障害者総合支援法の施行があり、対応システムの構築予定である。</p>			
会計名	一般会計			
款	民生費			
項	社会福祉費			
目	障害者自立支援事業費			
(単位:千円)				
当初予算額	9,674			
補正予算額	3,276			
予算流・充用額	△208			
最終予算額	12,742			
本年度決算額	6,725			
区分	決算額	その他財源の内訳		
財源内訳	国・県支出金	3,276	分担金	0
	地方債	0	負担金	0
	その他	0	使用料	0
	一般財源	3,449	手数料	0
	計	6,725	財産収入	0
			寄付金	0
			繰入金	0
			贈収入	0
			その他	0
(参考)	評価結果	システム機器の保守期限を過ぎており、機器更新を行う時期にきている。また、平成26年度に障害者総合支援法の施行があり、対応システムの構築が必要である。		
前年度決算額	19,035			

福027	項目名	療養介護医療費	
主要な施策	療養介護医療費	ページ	28
年度	H24	所 属 名 福祉保健部 障がい福祉課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】自立支援係 0857-20-3475		
款 民生費	【9次総の施策体系】3201		
項 社会福祉費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 12月補正予算・P8（福002）		
目 障害者自立支援事業費	【事業の概要】 進行性筋萎縮症に罹患している身体障がいのある人等に対し、医療機関で、機能訓練、療養上の管理、看護、介護及び日常生活の支援を行い、医療に関する部分を療養介護医療費として医療機関に支給。		
(単位:千円)	【事業の成果】 医療機関で機能訓練、療養上の管理、看護、介護及び日常生活の支援を行い、もって障がい者福祉の増進を図った。		
当初予算額	12,828	【今後の課題・方向性】 障害者自立支援法に基づく制度であり、今後も継続する。	
補正予算額	26,455		
予算流・充用額	0		
最終予算額	39,283	【参考】	
本年度決算額	39,220	前年度決算額 12,024	
区分	決算額	評価結果	
財源内訳	国・県支出金 29,366	重度の障がいのある方が入院して医療的な治療を行いながら、機能訓練や入浴、トイレ、食事などの日常生活の支援を行うことは今後も必要である。	
	地方債 0		
	その他 0		
	一般財源 9,854		
	計 39,220		
		その他財源の内訳	
		分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収入	0
		その他	0

福028	項目名	補装具給付費	
主要な施策	補装具給付費	ページ	28
年度	H24	所 属 名 福祉保健部 障がい福祉課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】自立支援係 0857-20-3475		
款 民生費	【9次総の施策体系】3201		
項 社会福祉費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P73（福023）		
目 障害者自立支援事業費	【事業の概要】 身体の障がいを補うため補装具費（購入・修理）の支給を行う。		
(単位:千円)	【事業の成果】 障がいの部位及び程度に応じて次のような補装具費（購入・修理）の支給を行い、日常生活及び職業生活を容易にする。利用者負担は原則1割となり、残りの9割を支給する。 (1) 肢体不自由 義肢、(電動)車いす、座位保持装置等 (2) 聴覚障がい 補聴器 (3) 視覚障がい 盲人安全杖、義眼、眼鏡 (4) その他 重度障がい者用意思伝達装置等		
当初予算額	38,698	補助率 国 1/2 県1/4 一般財源 1/4	
補正予算額	10,330	【今後の課題・方向性】 交付申請された補装具を、状況等を確認ながら公平に決定していく。	
予算流・充用額	0		
最終予算額	49,028		
本年度決算額	49,028		
区分	決算額		
財源内訳	国・県支出金 36,771		
	地方債 0		
	その他 0		
	一般財源 12,257		
	計 49,028		
		その他財源の内訳	
		分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収入	0
		その他	0
(参考)	前年度決算額 44,668	評価結果	
		障がいのある方が自立した日常生活及び社会生活を営むことができるよう、必要な援助を行うものであり、今後も継続して必要である。	

福029	項目名	相談支援事業費	
主要な施策	地域生活支援事業費	ページ	28
年度	H24	所 属 名 福祉保健部 障がい福祉課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】自立支援係 0857-20-3475		
款 民生費	【9次総の施策体系】3201		
項 社会福祉費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P73（福024）、9月補正予算・P12（福006）		
目 障害者自立支援事業費	【事業の概要】 障害者自立支援法の施行により、相談支援事業は、この法律に基づき市町村が主体となって実施する地域生活支援事業に位置づけられ必須事業となっている。 市内3箇所の指定特定相談支援事業所（平成24年4月1日以降市が事業所指定を行う）に本市の相談支援事業を委託。 委託先の車両購入を支援。		
(単位:千円)	【事業の成果】 障がいのある人が地域で安心して生活していくために必要となる各種サービス利用等のための相談支援（サービス利用計画作成等）・調整等を行う体制を整備し、障がいのある人の地域生活の定着及び移行を積極的に推進した。		
当初予算額	49,150	【今後の課題・方向性】 障がい福祉サービスを利用するすべての障がい児・者に対しサービス等利用計画を作成し、相談体制の強化を図る必要があり、相談支援専門員の増員について検討する必要がある。	
補正予算額	3,600		
予算流・充用額	0		
最終予算額	52,750	【参考】	
本年度決算額	52,113	評価結果 障がい福祉サービスを利用するすべての障がい児・者に対しサービス等利用計画を作成し、相談体制の強化を図る必要があり、相談支援事業所及び相談支援専門員の増員について検討の必要がある。	
区分	決算額	評価結果	
財源内訳	国・県支出金	20,709	
	地方債	0	
	その他	0	
	一般財源	31,404	
	計	52,113	
前年度決算額	35,050		

福030	項目名	日常生活用具給付事業費	
主要な施策	地域生活支援事業費	ページ	
年度	H24	所 属 名 福祉保健部 障がい福祉課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】障がい者福祉係 0857-20-3474		
款 民生費	【9次総の施策体系】3201		
項 社会福祉費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P72（福022）		
目 障害者自立支援事業費	【事業の概要】 障がいのある人がその有する能力及び適性に応じ、自立した日常生活及び社会生活を営むことができるよう、必要な援助を行うことを目的とする。		
(単位:千円)	【事業の成果】 助成対象：延べ4,141件 42,020千円		
当初予算額	42,073	【今後の課題・方向性】 障がいのある人が自立した日常生活を営む上で必要な支援と考える。	
補正予算額	0		
予算流・充用額	0		
最終予算額	42,073	【参考】	
本年度決算額	42,065	評価結果 障がいのある方が自立した日常生活及び社会生活を営むことができるよう、必要な援助を行うものであり、今後も継続して支援が必要である。	
区分	決算額	評価結果	
財源内訳	国・県支出金	27,926	
	地方債	0	
	その他	0	
	一般財源	14,139	
	計	42,065	
前年度決算額	46,525		

福031	項目名	国民健康保険団体連合会負担金等																						
主要な施策	国民健康保険団体連合会負担金等	ページ	28	所 属 名																				
年度	H24	福祉保健部 障がい福祉課																						
会計名	事業の概要																							
一般会計	【問合せ先】障がい者福祉係 0857-20-3474																							
款 民生費	【9次総の施策体系】3201																							
項 社会福祉費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P74（福025）、12月補正予算・P9（福003）																							
目 障害者自立支援事業費	【事業の概要】 障がい福祉サービス費として居宅介護などの介護給付費、自立訓練などの訓練等給付費、相談支援事業の一環としての利用計画作成費、施設入所者等に対する特定障害者特別給付費等について、電子請求システムを活用し、鳥取県国民健康保険団体連合会経由で精算方式を行うための手数料及び負担金を支払う。																							
(単位:千円)	【事業の成果】 障がい福祉サービス費の支払いを電子請求システムを活用し、鳥取県国民健康保険団体連合会経由で迅速かつ正確に行う。																							
当初予算額	2,798,513	【今後の課題・方向性】 電子請求システムを活用し、障がい福祉サービス費の支払いを迅速かつ正確に行うためにも、継続して必要。																						
補正予算額	629,474																							
予算流・充用額	0																							
最終予算額	3,427,987	【評価結果】 電子請求システムを活用し、障がい福祉サービス費の支払いを迅速かつ正確に行うためにも、継続して必要である。																						
本年度決算額	3,394,564	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">其他財源の内訳</th> </tr> <tr> <td>分担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>手数料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>財産収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>寄付金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>繰入金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>贈収金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </table>			其他財源の内訳		分担金	0	負担金	0	使用料	0	手数料	0	財産収入	0	寄付金	0	繰入金	0	贈収金	0	その他	0
其他財源の内訳																								
分担金	0																							
負担金	0																							
使用料	0																							
手数料	0																							
財産収入	0																							
寄付金	0																							
繰入金	0																							
贈収金	0																							
その他	0																							
区分	決算額																							
財源内訳	国・県支出金	2,544,259																						
	地方債	0																						
	其他	0																						
	一般財源	850,305																						
	計	3,394,564																						
(参考)	前年度決算額	3,058,200																						

福032	項目名	法外援護事業費		
主要な施策	法外援護事業費	ページ	27	所 属 名
年度	H24	福祉保健部 生活福祉課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】保護第一係 0857-20-3472			
款 民生費	【9次総の施策体系】3202			
項 社会福祉費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 12月補正予算・P9（福004）			
目 社会福祉総務費	【事業の概要】 法外扶助支給要綱に基づき、被保護世帯における児童の保育所入所支度金及び被保護世帯に対し年2回見舞金を支給するもの。 (1) 保育所入所支度金 保育所に入所する児童のいる被保護世帯に対し、連絡帳等の毎年度更新経費や子どもの成長に伴う運動服等の更新経費等に対応するため、児童一人2,500円を支給する。 (2) 見舞金 被保護世帯に、年2回（夏期及び冬期）見舞金を支給する。			
(単位:千円)	【事業の成果】			
当初予算額	21,970	(1) 保育所入所支度金 (2) 見舞金		
補正予算額	2,093	24年度 120千円 24年度 23,669千円		
予算流・充用額	0	23年度 128千円 23年度 21,782千円		
最終予算額	24,063	22年度 128千円 22年度 19,938千円		
本年度決算額	23,919	【今後の課題・方向性】 見舞金については、見直しを行い、平成25年度に夏期見舞金を廃止し、平成26年度に冬期見舞金を廃止する。 保育所入所支度金は、現状通りとする。		
区分	決算額			
財源内訳	国・県支出金	9,493		
	地方債	0		
	其他	0		
	一般財源	14,426		
	計	23,919		
(参考)	前年度決算額	21,909	【評価結果】 平成25年度及び26年度の2年で見舞金を廃止することとする。（保育所入所支度金は、現状どおり）	

福033	項目名	住宅手当緊急特別措置事業費		
主要な施策	住宅・生活支援対策事業費	ページ	26	所 属 名
年度	H24	福祉保健部 生活福祉課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】保護第一係 0857-20-3472			
款 民生費	【9次総の施策体系】3202			
項 社会福祉費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P74（福026）			
目 社会福祉総務費	【事業の概要】 離職者であって就労能力及び就労意欲のあるもののうち、住宅を喪失している者又は喪失するおそれのある者に対して、住宅手当を支給することにより、これらの者の住宅及び就労機会の確保に向けた支援を行う。			
(単位:千円)	【事業の成果】 24年度-68世帯 14,859千円 23年度-66世帯 12,613千円 22年度-49世帯 7,884千円 21年度- 世帯 1,381千円			
当初予算額	13,357	【今後の課題・方向性】 平成24年度を以て、事業を終了する予定だったが、内容を一部縮小（支給期間を6か月から3か月に変更、年齢制限を申請時に65歳未満の者とする等）して継続されることとなった。 今後も第2のセーフティーネットとして、事業は継続される見込みである。		
補正予算額	2,559			
予算流・充用額	△ 443			
最終予算額	15,473	【事業の成果】		
本年度決算額	14,859	24年度-68世帯 14,859千円 23年度-66世帯 12,613千円 22年度-49世帯 7,884千円 21年度- 世帯 1,381千円		
区分	決算額	【今後の課題・方向性】		
財源内訳	国・県支出金 14,858	平成24年度を以て、事業を終了する予定だったが、内容を一部縮小（支給期間を6か月から3か月に変更、年齢制限を申請時に65歳未満の者とする等）して継続されることとなった。 今後も第2のセーフティーネットとして、事業は継続される見込みである。		
	地方債 0			
	その他 0			
	一般財源 1			
	計 14,859			
(参考)	前年度決算額 12,613	評価結果 25年度も国の方針により、住宅手当緊急特別措置事業は継続されるため、引き続き制度の円滑な運営に努めていく。		

福034	項目名	生活保護事務費		
主要な施策	事務費	ページ	30	所 属 名
年度	H24	福祉保健部 生活福祉課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】保護第一係 0857-20-3472			
款 民生費	【9次総の施策体系】3202			
項 生活保護費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 6月補正予算・P6（福001）			
目 生活保護総務費	【事業の概要】 1. 生活保護版レセプト管理システムについて、ソフトサポート契約により今後の点数改正等の変更に対応するため。 2. 修繕費、電話料、郵便料の増加が見込まれること。また、更新した生活保護システム端末のセットアップ費が必要なため。			
(単位:千円)	【事業の成果】 1. レセプト管理システムのソフトサポートを委託し、委託料を支払う。 2. 修繕費、電話料、郵便料及び委託料を支払う。			
当初予算額	9,759	【今後の課題・方向性】 今後も増加していくレセプト管理事務・生活保護費支給事務を迅速かつ適正に行うため、必要なシステムのソフトサポート委託料、事務用郵便料、電話料、修繕料等を支払う。		
補正予算額	760			
予算流・充用額	0			
最終予算額	10,519	【事業の成果】		
本年度決算額	10,231	1. レセプト管理システムのソフトサポートを委託し、委託料を支払う。 2. 修繕費、電話料、郵便料及び委託料を支払う。		
区分	決算額	【今後の課題・方向性】		
財源内訳	国・県支出金 530	今後も増加していくレセプト管理事務・生活保護費支給事務を迅速かつ適正に行うため、必要なシステムのソフトサポート委託料、事務用郵便料、電話料、修繕料等を支払う。		
	地方債 0			
	その他 0			
	一般財源 9,701			
	計 10,231			
(参考)	前年度決算額 10,268	評価結果 25年度も国の方針により、住宅手当緊急特別措置事業は継続されるため、引き続き制度の円滑な運営に努めていく。		

福035	項目名	扶助費			
主要な施策	扶助費	ページ	30	所 属 名	
年度	H24	福祉保健部 生活福祉課			
会計名	事業の概要				
一般会計	【問合せ先】保護第一係 0857-20-3472				
款 民生費	【9次総の施策体系】3202				
項 生活保護費	【予算計上の経過】				
目 扶助費	予算事業別概要目次				
(単位:千円)	当初予算・P75(福027)、12月補正予算・P10(福006)				
当初予算額	3,800,000	【事業の概要】			
補正予算額	480,002	生活に困窮する者に対し、その困窮の度合いに応じ必要な保護を行い、その最低限度な生活を保障するとともに、自立を助長することを目的とする。			
予算流・充用額	1	【事業の成果】			
最終予算額	4,280,003	平成24年度 4,184,681千円			
本年度決算額	4,184,680	平成23年度 3,790,475千円			
		平成22年度 3,568,728千円			
区分	決算額	平成21年度 3,202,710千円			
		平成20年度 2,889,174千円			
財源内訳	国・県支出金	3,115,264	平成19年度 2,808,891千円		
	地方債	0	平成18年度 2,687,176千円		
	その他	46,958	【今後の課題・方向性】		
	一般財源	1,022,458	長引く景気の低迷により、全国的に生活保護受給者が増加しているが、本市も同様である。この傾向は、今後も継続していくものと考えられる。		
	計	4,184,680	国の方でも制度改正に向けて取組をはじめたところであり、今後その動きを注視するとともに、一層適正保護を実施していく必要がある。		
	分担金	0	【評価結果】		
	負担金	0	今後も国の動きを注視しながら、増加する生活保護受給者を適正に保護していくことに努める。		
使用料	0	前年度決算額			
手数料	0	3,790,475			
財産収入	0	評価結果			
寄付金	0	今後も国の動きを注視しながら、増加する生活保護受給者を適正に保護していくことに努める。			
繰入金	0	前年度決算額			
贈収	46,958	3,790,475			
その他	0	評価結果			
その他	0	今後も国の動きを注視しながら、増加する生活保護受給者を適正に保護していくことに努める。			

福036	項目名	重度障害者医療助成費		
主要な施策	重度障害者医療助成費	ページ	27	所 属 名
年度	H24	福祉保健部 保険年金課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】医療助成係 0857-20-3486			
款 民生費	【9次総の施策体系】3202			
項 社会福祉費	【予算計上の経過】			
目 身体障がい者福祉費	予算事業別概要目次			
(単位:千円)	当初予算・P75(福028)、12月補正予算・P11(福007)			
当初予算額	561,354	【事業の概要】		
補正予算額	28,476	障がいのある人の健康の保持及び生活の安定を図る目的で昭和48年より創設。		
予算流・充用額	0	○県助成事業 次に該当する人(本人の前年所得が一定の金額未満の人が対象)に対し、患者負担額を医療費の1割負担とする。		
最終予算額	589,830	①身体障害者手帳1,2級の所持者		
本年度決算額	571,716	②重度の知的障害者として判定を受けた者		
		③精神保健福祉手帳1級の所持者		
区分	決算額	○単市事業 県助成に該当しない70歳未満で所得税及び市民税非課税である下記の人。		
		①身体障害者手帳3,4級の所持者(※1)		
財源内訳	国・県支出金	211,367	②身体障害者手帳5,6級の所持者(※2)	
	地方債	0	③療育手帳所持者(※1)	
	その他	103,101	④精神保健福祉手帳2級の所持者(※1)	
	一般財源	257,248	⑤精神保健福祉手帳3級の所持者(※2)	
	計	571,716	※1 1ヶ月の医療費の合計が入院を含む場合15,000円、それ以外の場合は8,000円を超えた額を助成。	
	分担金	0	※2 ※1の半額を助成。	
	負担金	0	【事業の成果】	
使用料	0	助成対象者が医療保険等で医療給付を受けた場合に、自己負担部分を助成し、健康の保持と生活の安定を図った。		
手数料	0	(扶助費) 平成22年度 89,540件 547,351,596円		
財産収入	0	平成23年度 83,613件 560,314,490円		
寄付金	0	平成24年度 85,163件 561,506,772円		
繰入金	0	【今後の課題・方向性】		
贈収	103,101	障がいのある人の医療費の負担軽減のため、引き続き制度の円滑な運営に努めていく。		
その他	0	【評価結果】		
その他	0	障がいのある人の医療費の負担軽減のため、引き続き制度の円滑な運営に努めていく。		

福037	項目名	はり・きゅう・マッサージ施術助成費	
主要な施策	はり・きゅう・マッサージ施術助成費	ページ	28
年度	H24	所 属 名 福祉保健部 保険年金課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】長寿医療係 0857-20-3487		
款 民生費	【9次総の施策体系】3202		
項 社会福祉費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P76(福029)		
目 老人福祉費	【事業の概要】 健康管理事業として市民が広く、はり、きゅう、マッサージの施術が受けられるよう施術費用を助成する「鳥取市高齢者はり、きゅう、マッサージ施術費助成事業」を平成7年4月から開始した。 所得税及び住民税非課税者で70歳以上の高齢者及び後期高齢者医療被保険者を対象に年間(6月～5月)12回以内の施術(1回につき1,000円)を助成するもの。		
(単位:千円)	【事業の成果】 はり、きゅう、マッサージの施術費用の一部を助成し、高齢者の福祉の向上、医療費負担軽減を図った。		
当初予算額	4,036	平成22年度 配布件数 583件 助成金額 3,511,000円	
補正予算額	0	平成23年度 配布件数 531件 助成金額 3,140,000円	
予算流・充用額	0	平成24年度 配布件数 523件 助成金額 3,257,500円	
最終予算額	4,036	【今後の課題・方向性】 高齢者の医療費の負担軽減と健康増進のため、引き続き制度の円滑な運営に努めていく。	
本年度決算額	3,383	【参考】	
区分	決算額	評価結果	
財源内訳		高齢者の健康増進と経済的負担軽減のため、引き続き制度の円滑な運営に努めていく。	
国・県支出金	0	前年度決算額	
地方債	0	3,265	
その他	2,402		
一般財源	981		
計	3,383		

福038	項目名	後期高齢者医療広域連合運営費	
主要な施策	後期高齢者医療広域連合運営費	ページ	28
年度	H24	所 属 名 福祉保健部 保険年金課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】長寿医療係 0857-20-3487		
款 民生費	【9次総の施策体系】No.3202		
項 社会福祉費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P77(福031)		
目 老人福祉費	【事業の概要】 平成20年4月に開始された後期高齢者医療制度は、県内全市町村で構成する鳥取県後期高齢者医療広域連合(以下、広域連合)が運営主体であり、広域連合の決算総額は70,776,368千円、うち県内市町村負担金が11,396,052千円である。内訳は、 (1) 広域連合市町村負担金256,090千円(うち鳥取市90,624千円) 人件費、物件費等の事務局運営費を、県内全市町村が均等割10%、高齢者人口割50%、人口割40%の割合で負担するもの (2) 市町村療養給付費負担金5,623,037千円(うち鳥取市1,596,795千円) 各市町村の自己負担割合1割の被保険者が医療を受けた際の療養給付費(9割)の1/12に相当する金額を、各市町村分として負担するもの (3) 保険料等負担金5,516,925千円(うち鳥取市1,714,606千円) ※後期高齢者医療特別会計の後期高齢者医療広域連合納付金		
(単位:千円)	【事業の成果】 後期高齢者医療制度に係る応分の負担金を支出した。		
当初予算額	1,746,549	(1) 広域連合市町村負担金	
補正予算額	△28,461	平成22年度 67,236,662円	
予算流・充用額	0	平成23年度 72,023,477円	
最終予算額	1,718,088	平成24年度 90,623,708円	
本年度決算額	1,718,037	(2) 市町村療養給付費負担金	
区分	決算額	平成22年度 1,458,477,000円	
財源内訳		平成23年度 1,548,104,179円	
国・県支出金	0	平成24年度 1,596,794,860円	
地方債	0	平成22年度 23,337,142円	
その他	30,721	平成23年度 29,359,296円	
一般財源	1,687,316	平成24年度 30,618,300円	
計	1,718,037	【今後の課題・方向性】 鳥取県後期高齢者医療広域連合と連携を図り、制度の円滑な運営に努めていく。	
(参考)	評価結果		
前年度決算額	1,649,487	鳥取県後期高齢者医療広域連合と連携を図り、制度の円滑な運営に努めていく。	

福039	項目名	特定疾病医療助成費		
主要な施策	特定疾病医療助成費	ページ	29	所 属 名
年度	H24	福祉保健部 保険年金課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】医療助成係 0857-20-3486			
款 民生費	【9次総の施策体系】1101			
項 児童福祉費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P77(福032)			
目 児童福祉総務費	【事業の概要】 医師により特定疾病と認定された方の健康保持及び生活の安定を図る目的で昭和48年より創設された。 ○対象者 慢性腎疾患、ぜんそく、慢性心疾患、内分泌疾患、膠原病、糖尿病、先天性代謝異常疾患、神経・筋疾患等の治療をしている満20歳未満の人(先天性代謝異常については満20歳以上の人でも対象となる場合あり) ○患者負担額 通院 530円/日(同一医療機関で一月5日目を以降は無料) 入院 1,200円/日(※1) ※1 市民税非課税世帯で「限度額適用・標準負担額減額認定証」の交付を受けている方については、一月当たりの負担上限は15日、18,000円まで。			
(単位:千円)	【事業の成果】 特定疾病患者の患者に対し医療費助成を行い、経済的な負担軽減を図った。 (扶助費) 平成22年度 11,908件 31,386,875円 平成23年度 1,580件 7,374,696円 平成24年度 559件 2,944,683円			
当初予算額 4,910	【今後の課題・方向性】 医師により特定疾病と認定された方の医療費の負担軽減のため、引き続き制度の円滑な運営に努めていく。			
補正予算額 0	【参考】			
予算流・充用額 0	評価結果 医師により特定疾病と認定された方の医療費の負担軽減のため、引き続き制度の円滑な運営に努めていく。			
最終予算額 4,910	評価結果			
本年度決算額 3,017	医師により特定疾病と認定された方の医療費の負担軽減のため、引き続き制度の円滑な運営に努めていく。			
区分	決算額	評価結果		
財源内訳	国・県支出金 1,506	医師により特定疾病と認定された方の医療費の負担軽減のため、引き続き制度の円滑な運営に努めていく。		
	地方債 0			
	その他 0			
	一般財源 1,511			
	計 3,017			
前年度決算額 7,616				

福040	項目名	小児特別医療助成費		
主要な施策	小児特別医療助成費	ページ	30	所 属 名
年度	H24	福祉保健部 保険年金課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】医療助成係 0857-20-3486			
款 民生費	【9次総の施策体系】1101			
項 児童福祉費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P78(福033)、12補正予算・P11(総008)			
目 児童福祉総務費	【事業の概要】 小児特別医療助成制度は、乳幼児の健康保持を図る目的で昭和48年より創設された。医療を受けたときにかかる医療費に要する費用のうち、医療機関で支払われる自己負担金について、次のとおりを上限として患者が負担し、超えた部分を助成する。 ○対象者 小児(中学校卒業まで) ○患者負担額 通院 530円/日(同一医療機関で一月5日目を以降は無料) 入院 1,200円/日(※1) ※1 市民税非課税世帯で「限度額適用・標準負担額減額認定証」の交付を受けている方については、1月当たりの負担上限は15日、18,000円まで。			
(単位:千円)	【事業の成果】 小児(中学校卒業まで)に対する医療費の助成を行い、子育て世帯の負担軽減を図った。 (扶助費) 平成22年度 189,918件 301,153,386円 平成23年度 208,183件 509,792,826円 平成24年度 232,380件 576,226,432円			
当初予算額 619,008	【今後の課題・方向性】 子育てに伴う医療費の負担軽減及び子どもの健康保持のため、引き続き制度の円滑な運営に努めていく。			
補正予算額 41,776	【参考】			
予算流・充用額 0	評価結果 子育て世帯の医療費の負担軽減及び子どもの健康保持のため、引き続き制度の円滑な運営に努めていく。			
最終予算額 660,784	評価結果			
本年度決算額 606,715	子育て世帯の医療費の負担軽減及び子どもの健康保持のため、引き続き制度の円滑な運営に努めていく。			
区分	決算額	評価結果		
財源内訳	国・県支出金 300,847	子育て世帯の医療費の負担軽減及び子どもの健康保持のため、引き続き制度の円滑な運営に努めていく。		
	地方債 0			
	その他 6,591			
	一般財源 299,277			
	計 606,715			
前年度決算額 539,475				

福041	項目名	ひとり親家庭医療助成費		
主要な施策	ひとり親家庭医療助成費	ページ	30	所 属 名
年度	H24	福祉保健部 保険年金課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】医療助成係 0857-20-3486			
款 民生費	【9次総の施策体系】1101			
項 児童福祉費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P78(福034)、12月補正予算・P12(福009)			
目 母子福祉費	【事業の概要】 ひとり親家庭の方の健康保持と生活安定を図る目的で昭和48年より創設された。 ○対象者 配偶者のない父・母(死別・離婚・遺棄・配偶者が身体障がい者・未婚の母等)と子 ○患者負担額 通院 530円/日 (同一医療機関で一月5日目以降は無料) 入院 1,200円/日 (※1) ※1 市民税非課税世帯で「限度額適用・標準負担額減額認定証」の交付を受けている方については、一月当たりの負担上限は15日、18,000円まで。			
(単位:千円)	【事業の成果】 所得税非課税のひとり親世帯の親及び子(18歳に達した年度末まで)に対し、医療費の助成を行い、医療費負担の軽減を図った。 (扶助費) 平成22年度 36,037件 76,401,828円 平成23年度 32,013件 82,042,043円 平成24年度 32,977件 85,933,712円			
当初予算額	79,320	【今後の課題・方向性】 ひとり親家庭の医療費負担軽減のため、引き続き制度の円滑な運営に努めていく。		
補正予算額	18,136			
予算流・充用額	0			
最終予算額	97,456	【参考】		
本年度決算額	89,398	前年度決算額 85,557		
区分	決算額	評価結果		
財源内訳	国・県支出金 42,590	ひとり親家庭の医療費負担軽減のため、引き続き制度の円滑な運営に努めていく。		
	地方債 0			
	その他 5,136			
	一般財源 41,672			
	計 89,398			
分担金	0			
負担金	0			
使用料	0			
手数料	0			
財産収入	0			
寄付金	0			
繰入金	0			
贈収入	5,136			
その他	0			

福042	項目名	国民健康保険費特別会計へ繰出		
主要な施策	国民健康保険費特別会計へ繰出	ページ	31	所 属 名
年度	H24	福祉保健部 保険年金課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】庶務係 0857-20-3481			
款 民生費	【9次総の施策体系】No.3202			
項 他会計繰出	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P79(福035)			
目 国民健康保険費特別会計へ繰出	【事業の概要】 国のルールに基づく一般会計からの支援分等の繰出。			
(単位:千円)	【事業の成果】 一般会計からの支援分等の繰出。 (繰出実績)			
当初予算額	1,697,428	事業勘定 直診勘定		
補正予算額	△120,247	平成22年度 2,016,977,645円 12,833,681円		
予算流・充用額	0	平成23年度 1,585,487,708円 13,725,631円		
最終予算額	1,577,181	平成24年度 1,551,141,787円 8,847,343円		
本年度決算額	1,551,724	【今後の課題・方向性】 国民健康保険制度の趣旨及び実態に即しながら、適切な運営に努めていく。		
区分	決算額	【参考】		
財源内訳	国・県支出金 624,702	国民健康保険制度の趣旨及び実態に即しながら適切な運営に努めていくとともに、特別医療助成の実施に係る国からの負担金の減額措置を行わないよう要望していく。		
	地方債 0			
	その他 0			
	一般財源 927,022			
	計 1,551,724			
分担金	0			
負担金	0			
使用料	0			
手数料	0			
財産収入	0			
寄付金	0			
繰入金	0			
贈収入	0			
その他	0			
前年度決算額	1,592,714	評価結果		